



生ごみリサイクル作業場
の剪定枝を混ぜて、
公園で生ごみ堆肥を作



と、豊中の市民グループ「よなが市民環境会議」が実験、提案していた、学校給食の堆肥化事業。市が事業化し、先月には、剪定枝・生ごみ堆肥化施設「緑と食品のリサイクルプラザ」(豊中市原田中2、市営原田苗圃内)が誕生しました。

「本来なら、生ごみはなるべく出さないようにしていただきたいもの。こんなふうに循環させていくことで、一人ひとりが、ごみを減らすことを心がけてもらえたたら」とは、同所長の三井直之さん。現在、一日に処理されている生ごみは300キロ。学校給食の調理くずや生ごみに、公園や街路樹の剪定枝を混ぜて、土壤改良剤を作ります。この土壤改良剤を加えた土で、農作物や花を栽培することに。

●緑と食品のリサイクルプラザ

生ごみリサイクルを進めよう
と、豊中の市民グループ「よなが市民環境会議」が実験、提案していた、学校給食の堆肥化事業。市が事業化し、先月には、剪定枝・生ごみ堆肥化施設「緑と食品のリサイクルプラザ」(豊中市原田中2、市営原田苗圃内)が誕生しました。

「本来なら、生ごみはなるべく出さないようにしていただきたいもの。こんなふうに循環させていくことで、一人ひとりが、ごみを減らすことを心がけてもらえたたら」とは、同所長の三井直之さん。現在、一日に処理されている生ごみは300キロ。学校給食の調理くずや生ごみに、公園や街路樹の剪定枝を混ぜて、土壤改良剤を作ります。この土壤改良剤を加えた土で、農作物や花を栽培することに。

りなど、「花いづばい運動」を続ける、とよなが市民環境会議花と緑のネットワークとよなが代表の高島邦子さんは「いい堆肥を作るには、市、活用先やJRは私たち。来月には花壇の講習会も予定しています。堆肥を仲立ちに農地への資源の循環花いづばい運動など、啓蒙活動を展開してもらいたい」と話しています。



2002.5. リビング豊中